

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年10月7日

枚方市立樟葉学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童（生徒）の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

※調査結果について

教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の平均正答率（対全国比）をお知らせします。

保護者の皆さま・関係者の皆さまには
お知らせしています。

（全国の平均正答率を1とした経年比較）

保護者の皆さま・関係者の皆さま
にはお知らせしています。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→全ての問題で全国の平均正答率を上回り概ね良好な結果でした。ほとんどの問題で全国の無解答率を下回り概ね良好な結果となりました。選択式の問題については、9問中8問が無解答率0でしたが、短答式・記述式になると無解答率が上がります。全国平均値からも、「文章と図表を結びつけて考える」事においては課題が見られました。漢字については、他の問題の正答率を参考にとすると、もっと書けていてもよいのでは、と考えられます。文や文章が書けていても、その中で漢字を使っていないことが推測されます。「国語の勉強はよくわかる」、「得意と感じる」、「工夫して意欲的に学習し、将来に役に立つと考えている」にも関わらず、「好きではない」と回答した人の割合が半分を超えています。このことから、今後どのように学習を進めていくか、どのような授業づくりをしていくのかといった課題と考えています。

○算数【数学】について

→本校児童だけでなく、全国的に「苦手」とする児童が多い結果となっていますが、本校は、全体的に、国や府の平均を上回りました。基礎学力がある程度定着しているとの判断ができます。記述式で解答する問題に関しても、国や府の平均よりも正答率が高く、普段の授業の中で、自分の言葉で学習内容をまとめてきた成果が表れていると考えられます。ただ、算数用語を用いた説明や、決められた条件に当てはまるように説明することを求められると、うまく表現できなくなる傾向にあります。今後の授業の中で、既習の算数用語を用いて説明したり、条件を指定して説明したりする機会を増やすことで、さらに力を伸ばせるのではないかと考えます。

○理科について

→正答率を比較した場合、すべての項目において全国を上回っています。特に、「エネルギー」を柱にした領域において、全国の平均を大きく上回っています。対して、「生命」を柱とする領域に関しては全国とあまり差がなく、理解が難しい傾向が見られます。問題形式に関しては、短答式を得意とする傾向があり、記述式は苦手な傾向があります。

国語科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

【資料1】を読んで、思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する。

考察

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができるかどうかをみる問題である。正答率が大阪府や全国より約10ポイント上回っており、無解答率は0である。ひいおばあちゃんとお父さんの関係が「世代」、かわやと便所の関係が「ものの呼び方」であることがきちんと認識できている。児童にとって、「時代」という言葉は普段使っても、「世代」という言葉はなかなか普段使いしない。新聞を比較的良好に読んでいる児童が大阪府や全国に比べて多いことや、学校の図書の時間を有効活用することにも起因し、読書を全く好まない児童が少ないことが良い結果につながっているように思われる。

問題の概要

【木村さんのメモ】の空欄アに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く。

考察

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえることができるかどうかをみる問題である。正答率は、大阪府や全国に比べて約10ポイント高い。無解答率も比較すると4分の1である。国語の授業で、目的に応じて自分の考えが伝わるように、文章を簡単に書いたり、詳しく書いたりする工夫をしている児童が大多数を占めており、言語力の充実が根底にあると思われる。工夫して書く力が文章を読みこなす力にもつながっているのではないかと考えられる。

3

木村さんの学級では、言葉の変化について学ぶために、みんなで【資料1】を読みました。そして、【資料1】を読んで一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えをまとめることにしました。【資料1】をよく読んであとの問いに答えましょう。

【資料1】

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなったり、使い方が変わってたりする場合は少なくありません。ですから、意味や使い方に揺れが生じている言葉について、「この使い方が正しい」と決めつけるのは短絡的ともいえるでしょう。①この本を読むとお気づきになると思いますが、文化庁国語課では、言葉の意味について「正しい」「誤り」といった判断をせず、代わりに、②「本来の意味」「本来とは違う使い方」といった言い方にとどめています。言葉の正誤を軽蔑し決めることはできないと考えるからです。

③「言葉は生きている」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。④「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑤「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑥「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑦「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑧「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑨「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑩「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑪「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑫「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑬「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑭「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑮「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑯「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑰「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑱「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑲「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

⑳「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉑「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉒「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉓「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉔「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉕「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉖「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉗「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉘「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉙「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉚「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉛「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉜「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉝「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉞「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㉟「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊱「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊲「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊳「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊴「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊵「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊶「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊷「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊸「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊹「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

㊺「言葉は生きています」とも言われます。その広がりと深さにも、触れていただきたいと思います。

木村さん

二 木村さんは、【資料1】を読み、言葉は年月とともにどのような変化をするのか調べたいと思いました。そこで、次の【資料2】と【資料3】を読み、分かったこととあとの【木村さんのメモ】に整理しています。これらをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【資料2】

「あたらしい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

【資料3】

「あたらしい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

「新しい」は新しい形

(1) 【木村さんのメモ】の「ア」の中に入る適切な言葉を【資料2】の中から書きぬきましょう。

(2) 【木村さんのメモ】の「イ」に当てはまる内容として最も適切なものを、【資料3】を読み、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 時代とともに言葉の意味が変わる。

2 時代とともにものの使い方が変わる。

3 世代によってもものの呼び方がちがう。

4 世代によっても言葉の使い方は変わらない。

国語科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する。

考察

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかを見る問題である。学習指導要領の内容項目は「C読むこと」、評価の観点は「思考・判断・表現」、問題の形式は選択式の問題である。国語の全14問の中で最も全国平均正答率が低い問題である。本校の平均正答率は全国の平均正答率を7.5ポイント上回り、無解答率も本校は全国の5割程度であった。

(1) 【話し合いの様子】の

A

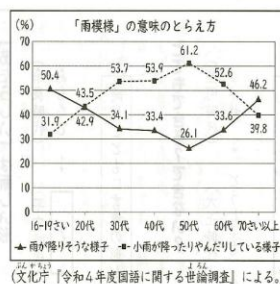
 に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 【資料1】の — 部①

2 【資料1】の — 部②

3 【資料1】の — 部③

4 【資料1】の — 部④



三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

【資料4】

ぼくが読んだ二つの資料（『資料2』、『資料3』）には、言葉が変化していることが書かれていたよ。『資料1』に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることになっているよ。

私は、この資料（「資料4」）を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがひがあることが分かるでしょ。

本当^に三、四十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨^{こゆ}が降^ふったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合^{わりあい}が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、資料1」に「A」

言葉の変化については、いろいろな考え方があるんだね。もう一度「資料1」を読み返して、言葉の変化について自分が一番なっとくしたことをまとめよう。



木村さん



田中さん



木村さん



田中さん



木村さん

問題の概要

【資料③】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。

考察

文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができているかどうかをみる問題である。学習指導要領の内容項目は「**c**読むこと」、評価の観点「思考・判断・表現」、問題の形式は選択式の問題である。本校の平均正答率は、全国の平均正答率を**6.2**ポイント上回っていて、無解答率においても本校**0.0**、全国**2.5**と良い成果が表れている。

言葉の変化について分かったこと

「あたらしい」は新しい形

(奈良時代) へ (平安時代) (今)

あたらしい

時代とともに言葉の形が変わる。

とてもできる？ できない？

(室町時代) (大正時代より前) (今)

どうせ ↓ どうしても、どうしても ↓ 非常に

イ

- (1) 「木村さんのメモ」の「ア」の中に入る適切な言葉を「資料2」の中から書きぬきましよう。
- (2) 「木村さんのメモ」の「イ」に当てはまる内容として最も適切なものを、「資料3」を読み次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 時代とともに言葉の意味が変わる。
- 2 時代とともにものの使い方が変わる。
- 3 時代によってものの呼び方がらう。
- 4 時代によって言葉の使い方は変わらない。

「あたらしい」は新しい形
「ふんいん」はふんいんき
と言ふ人が多く、日本語は、「ふんいんき」
「たい」で思ひなう、日本語が「これだてま
う」と思ひなうで、だてません。
「ふんいんき」は昔からよくあることであ
う。こゝろは、まだよくない」という意
味で、似たのは「新しい」と言ひまし
ても、似たの奈良時代には、「あらたし
」と言ひて「あたした」と言ひてしま
う意味で「あたした」と言ひてしま
う。ところが、次の平安朝に使はれて、「あらた
し」が「あたらしい」になりました。「た
とら」の順手が入れかわりました。すな
わし、「あらたし」に比べれば、「あた
らしい」は新しい形です。それが変化し
て、今では「あたらしい」になりました。

(飯沼浩明)「日本語をつかまえろ」による

と今、できる？できない？

「令で、あなたは『聴能がとてもできる』という言い方を妄だとは思わなくてよい。一〇年ほど前の大正時代、作家の芥川龍之介は、『とてもよい』『とても悪い』『とてもいい方』は皆い」と書いています。それより前の時代には、『とてもいい方』といふてまだまづない。のように、『とてもいい』の形ができていた。とは言わず、『よく』は、そんなことはとてもできない」と言っていたんですね。この場合の『とても』は、『どうしても』『どうしても』という意味を表します。

こんな話を聞くと、「じゃあ、これからは『とてもできない』と言おう。』『とてもできる』とも言わないようにしよう。』と思うかも知れませんが、その必要はありません。

とても古い時代、室町時代には、『とても』は『どうせ』の意味で使っていました。たとえば、『とても散るべき花』と言え、『どうせ散る花』という意味です。

これは昔の意味だけで使おうと思つたら、現代では事らせなくなつてしまふます。「昔は『どうだったか』を知ることが大事です。」「現代では『どう使われているか』を理解することも大事です。現代の人は、ことばを現代の意味で使うのが一番いいのです。」

二 木村さんでは「資料1」を読み、言葉は年月とともにどのような変化ををするのか調べたいと思いました。そこで、次の「資料2」と「資料3」を読み、分かったことをあとの「木村さんのメモ」に整理しています。これらをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

算数(数学)科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ。

考察

問題を正しく理解し、式を立てる力があることとともに、日常にある場面の問題で、想像しやすかったことが大きな要因だと考える。

4

保健委員のあさひさんは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話しています。



「ハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。」

「プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり回すことです。」
「プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることします。」



(1) まず、あさひさんは、保健室にある新品のハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを考えています。



保健室にある新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。

新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。
新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを知るためには、240 mLの他に何がわかればよいですか。
下の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- | | | |
|---|-----------------------|------|
| ア | 1プッシュ分のハンドソープの液体の量 | 3 mL |
| イ | 1プッシュするときにおす長さ | 2 cm |
| ウ | あさひさんが1日にプッシュする回数の平均 | 8回 |
| エ | あさひさんが手を洗うときにかかる時間の平均 | 60秒 |

問題の概要

10%増量した詰め替え用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。

考察

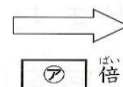
問題としてはかなり難しいが、全国や府の平均正答率を大きく上回り、無解答率も低かった。日常生活の中で親しみのある表現であったことや、小数の量感が身についていること、解答が選択式であったため、諦めずに取り組むことができたことなどが、良い結果の要因として考えられる。

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。
増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。



増量前
(800 mL)



増量後

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。
上のアにあてはまる数を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- | | |
|---|-----|
| 1 | 0.1 |
| 2 | 1.1 |
| 3 | 10 |
| 4 | 110 |

理科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

ベルを叩く装置の電磁石について、電流が作る磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く。

考察

正答率が9割を越えており、全国平均と比べても高い。実験を通して、基礎的な知識が身についている上に、長い文章を読解する力や、図を見てイメージをふくらませる力があると考えられる。

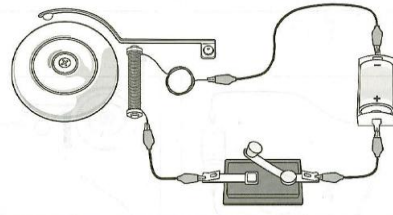
いおりさんとてつやさんは、かね（ベル）について話しています。

かね（ベル）の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。電磁石の強さを強くして、かねを強くたたけばいいね。



電磁石の強さを強くするには、次のようにするといいね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたとしたら、巻き数を（ア）。
- ・かん電池を変えたとしたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



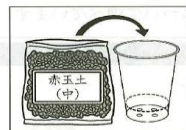
(3) 上のふきだしの（ア）にあてはまることばを書きましょう。

問題の概要

【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらいの粒の赤玉土に水がしみこむ時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ。

考察

正答率が高く、全国平均よりも上回っている。実験結果を比較し、条件を考慮して予想を立てることができ、その根拠を明らかにする力がついていると考えられる。



これまでわかったことを使えば、中くらいのつぶの赤玉土に、水がしみこむ時間を予想できそうだね。



(3) 大きいつぶと小さいつぶを比べたときの【方法】と同じように、中くらいのつぶの赤玉土で実験すると、水がしみこむ時間はどれぐらいになると考えられますか。

【結果】をもとにして、【考えられる時間】を下の1から3までの中から1つ、【考えられる時間を選んだ理由】を下の4から6までの中から1つ、それぞれ選んで、その番号を書きましょう。

【考えられる時間】

- 1 3秒より短い
- 2 5秒から9秒までの間
- 3 11秒より長い

【考えられる時間を選んだ理由】

- 4 中くらいのつぶの赤玉土は、大きいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかからないから。
- 5 中くらいのつぶの赤玉土は、小さいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかかるから。
- 6 中くらいのつぶの赤玉土は、大きいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかかり、小さいつぶの赤玉土より、しみこむのに時間がかからないから。

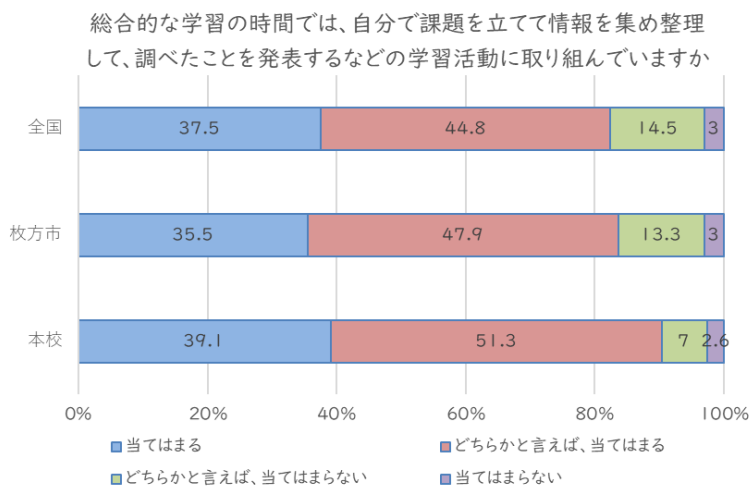
質問紙調査の結果①

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】

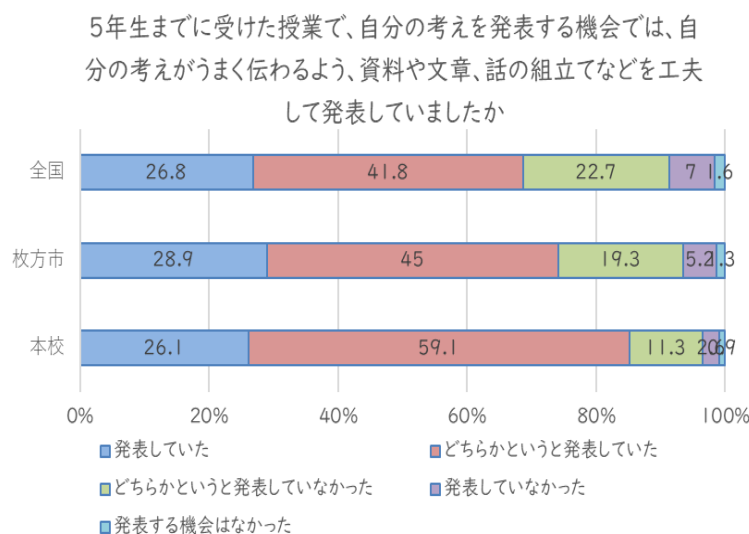
〔質問内容〕総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



（考察）

全国、枚方市の肯定的回答の割合よりも、上回っていることとともに、本校の経年推移のデータにおいても、過去6年間と比較すると全ての年度の肯定的回答の割合を上回っています。このことは、本校の取り組むべき課題を「学びを楽しみ、学ぶこと」と捉え、子どもが主体的に学習する「学習者主体の学び」への転換を進めてきた成果と考えます。今年度は、校内授業研究テーマを、総合的な学習の時間を中心に「探究学習」とし、全学年で取り組んでいます。教師はファシリテーターとして、児童が主体的に活動する探究者となるよう、学年ごとに年間計画を立てて進めています。今後も、子どもたちが、基礎的な知識・技能の習得はもちろんのこと、子どもたちが問題意識をもって、もっと知りたい、伝えたい、やってみたいと思える授業づくりを、学校全体で行ってまいります。

〔質問内容〕5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



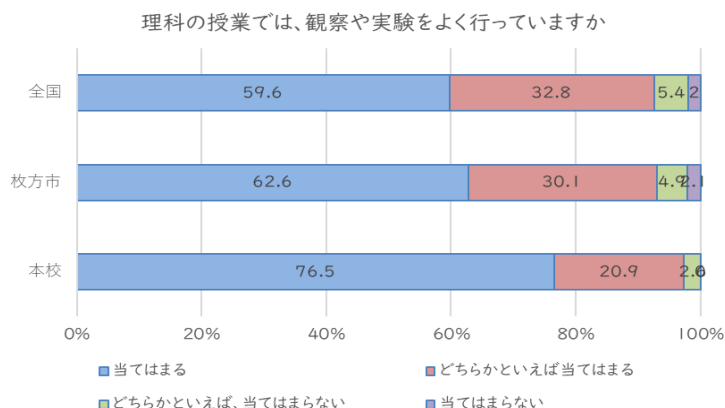
（考察）

全国、枚方市の肯定的回答の割合よりも、上回っていることとともに、本校の経年推移のデータにおいても、過去6年間と比較すると全ての年度の肯定的回答の割合を上回っています。このことは、上記の結果と相関関係にあると考えられます。本校の学校教育目標である「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の達成に向けて、子ども一人ひとりへの指導の個別化、学習の個別化とともに、他の人と対話したり協力したりする中で学びを深めていく授業づくりを進めていることも成果として現れたと受け止めています。また、「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか」という項目への肯定的回答の割合が8割近くになり、全国・枚方市の割合を上回っていることから、タブレットを学習に適切に活用できていることも、要因の一つと考えられます。

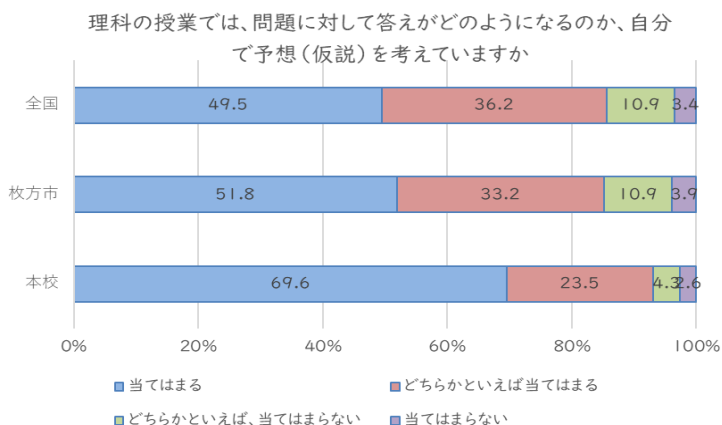
質問紙調査の結果②

【成果が見られた項目】

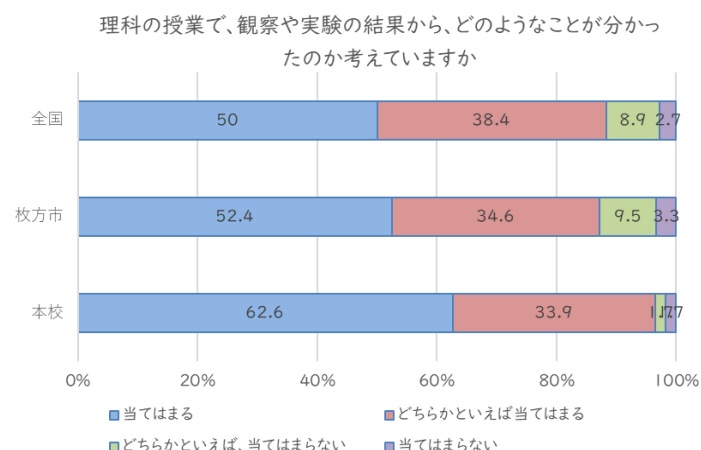
〔質問内容〕理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか



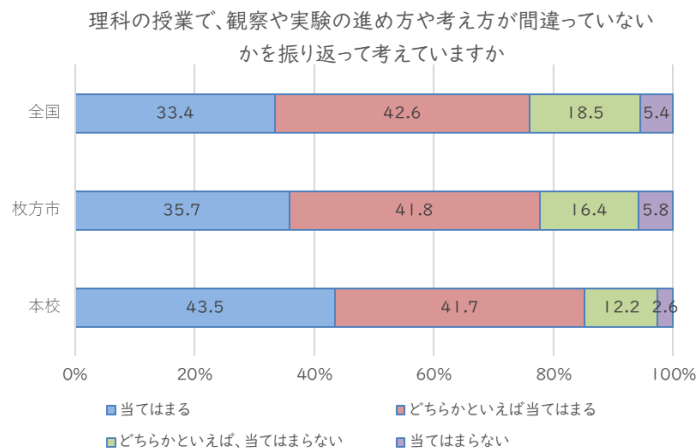
〔質問内容〕理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか



〔質問内容〕理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



〔質問内容〕理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか



（考察）

理科に関する質問紙調査の結果では、上記のもの以外の、理科の勉強は「得意ですか」「好きですか」「授業の内容はよく分りますか」「理科の授業で学習したことは「将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」「普段の生活の中で活用できていますか」「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題をみいだしたりしていますか」といったほとんどの項目において、肯定的回答の割合が、全国、枚方市を上回りました。上記のものの中、経年推移のデータがあるもの（理科テスト実施年度：令和4年度・平成30年度）の「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」の項目に関しては、肯定的回答の割合が、どの年度よりも上回っています。ただし、唯一、「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか」の項目では、肯定的回答の割合が、経年推移においても、全国、枚方市においても下回りました。

これらのことから、理科の学習においては、本校の課題である「教科を好きになること」「学びを楽しみと思うこと」等への理科専科の授業づくりが、成果の一つとなっていると考えられます。理科の勉強を「楽しい」と感じ、「学力」においても全校、枚方市の平均値を上回る結果となることから、子ども達の実態を捉えた学び方の授業づくりが行われており、近年、継続して、教育の資質の向上をめざした理科専科を取り入れている成果とも言えます。そして、日頃から、理科の授業づくりが「主体的で対話的で深い学び」をめざし、学校教育目標でもある、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の達成にむかっていると同時に、本校の課題解決に向けた、今年度の校内授業研究テーマである「探究学習」に積極的に取り組んでいる結果であると考えます。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

本校の学校教育目標は「**個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～自分で、仲間と、学ぶ楽しさを～**」と掲げています。その上で、子どもたちのより良い教育活動に向けて、生徒指導と学習指導が一体化するよう、これからも、生徒指導の4つの視点「**自己存在感の感受**」「**共感的な人間関係の育成**」「**自己決定の場の提供**」「**安全・安心な風土の醸成**」を入れた授業づくりと学級経営を行います。そして、それらを土台に、今年度は、本校の課題である「**学ぶ楽しさ**」を感じられるよう「**探究学習**」に取り組んでいるところです。理科の学習の成果を参考に、これからも、各教科の専門的な知識・技能の習得とともに、安全・安心な居場所の中で、ICTを適切に活用し、子どもたちが主体的に学び、対話しながら学びを深める時間を効果的に組み合わせた授業づくり、及び、子どもたちが自ら問いを立て、情報収集・分析を繰り返し、思考錯誤しながら答えを探究する能動的な授業づくりを進めてまいります。

(2) 家庭学習について

従来の「読む」「書く」「計算」が主である学校の宿題においては、基礎的な知識・技能の習得だけにとどまらず、生活経験や身の回りのものと関連付けて取り組むようなものにしたり、レポートや短文を作成する発展的な学習を取り入れるなど、子どもが勉強することを、主体的に「知りたい」「伝えたい」「やってみたい」と思えるよう取り組んでまいります。また、このような成果が見られたことは、保護者のみな様の家庭でのご対応の賜物だと感謝しております。今後とも、本校の学校教育活動にご理解・ご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。